

平成二六年度 総合文化研究所所員

所長 小池 明
顧問 大橋 敦夫
主任研究員 中西 満義、西山 秀人、宮田 暉明
研究員 木内公一郎、増田 榮美、佐藤 厚

執筆者紹介（掲載順）

小池 明（本学学長）
大橋 敦夫（本学教授・総合文化化学科学科長）
西山 秀人（本学教授）
木内公一郎（本学准教授）

《編集後記》

◎『総合文化研究所所報 学海』創刊号をお届けする。平成一四年度に設立された観光文化研究所は、平成二六年度より新たに総合文化研究所として再出発した。本誌は総合文化研究所の所報として、年一冊のペースで刊行を続けていく予定である。

◎小池学長の巻頭言にあるように、本誌は、本学国語国文学会の機関誌として発行していた「学海」の名称を復活することにした。本学が位置する塩田平は、鎌倉時代には「信州の学海」と称され、全国から学問僧が集まったと伝えられる由緒ある土地である。また、「学海」の語は前漢の揚雄が編んだ『揚子法言』中の「百川海を学びて海に至る」に拠るもので、絶えざる努力を積み重ねていくことによつて、初めて学問が大成することを意味する。本誌が「信州の学海」の伝統を汲みつつ、厚みのある研究成果を掲載していけるよう、学問に精進していきたい。

◎なお、本誌は縦組みを基準とするが、論文の内容によっては横組みも可能という方針をとることとした。引き続き大方のご支援を切にお願い申し上げる次第である。

◎最後に、玉稿を寄せてくださった先生方、快く題字を揮毫してくださった宮田暉明先生、刊行にあたって格別のご配慮を賜った法人本部に心より御礼申し上げます。（西山）